

取扱説明書

健康モニタ・プラス2（熱中症・季節性インフルエンザ）

DIGITAL HYGRO・THERMOMETER <デジタル湿度・温度計>

このたびは、エンペックス製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。正しくお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。なお、この説明書はお使いになる方が、いつでも見られるところに必ず保管してください。

保証書付

絵表示の説明

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようにになっています。



注意

誤った使い方をすると人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を示します。

図記号の例



○は禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、○の中や近くに文章や絵で示します。

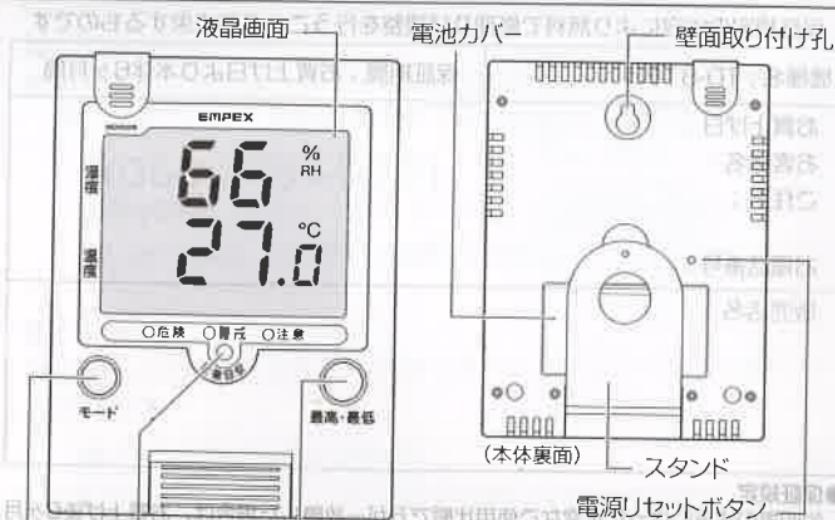


！は強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、！の中や近くに文章や絵で示します。

目 次

| | |
|---------------------|-----|
| 各部の名称 | 1 |
| 液晶画面の表示と機能 | 1 |
| 電池交換のしかた | 2 |
| ご使用方法 | |
| 最高湿度・温度の表示のしかた | 3 |
| 最低湿度・温度の表示のしかた | 3 |
| メモリーリセットのしかた | 3 |
| 注意目安ランプの点滅について | 4 |
| 各機能表示の仕方 | 4 |
| 測定範囲外の表示について | 5 |
| スタンドの立てかた | 5 |
| 壁面への設置のしかた | 5 |
| ご使用上の注意 | 6~7 |
| 製品仕様 | 7 |
| アフターサービスについて | 8 |
| お客様相談窓口・サービスセンターご案内 | 9 |
| 保証書・保証規定 | 裏表紙 |

各部の名称



モード
ボタン

最高/最低ボタン

注意目安ランプ



必ず正面から点滅色を見てください。
※横から見ると、違う色に見える
場合があります。

※電池を交換したとき、液晶画面が異常表示
をした場合は小さな穴の中の電源リセット
ボタンを押してください。

クリップなど先の細い物を穴に
差し込んで内部のボタンを押し
てください。(強く押しすぎて傷
つけないようご注意ください)。

液晶画面の表示と機能

- 液晶画面に現在の湿度・温度、または記憶している最高/最低湿度・温度を表示します。

※ご使用前に液晶画面の保護シールをゆっくり外してください。

電池切れ予告表示

最高/最低湿度呼
び出し表示

最高/最低温度呼
び出し表示

熱中症の注意目安
表示



湿度表示

温度表示

季節性インフルエンザ
予防目安表示

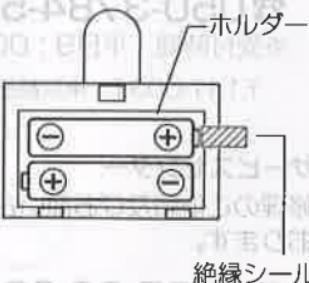
電池交換のしかた

- ・本製品は単4型アルカリ乾電池を2本使用します。
- ・スタンドを開き、図のように電池カバーを外し、ホルダーの表示にしたがい \oplus/\ominus を正しく入れ、電池カバーを固定してください。

① 矢印の方向へ押す



電池カバー



絶縁シール

- * 絶縁シールが付いている場合は外してください。
- * 電池交換したとき、異常表示をした場合は電源のリセットを行ってください。(電源のリセットのしかたは1ページを参照ください)
- * お買上のときに、本機に入っています電池はモニター用のもので、規定の電池寿命に満たないうちに切れることができます。
- * 長時間ご使用にならないときは、電池を外しておいてください。
- * 液晶画面の電池切れ予告表示が点灯したら電池交換をしてください。
- * 電池を交換するときは、指定の電池(単4型アルカリ乾電池)を使用してください。また、異なる種類の電池、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。

⚠ 注意

下記のこととを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂の恐れがあり、機器の故障やけがの原因となります。

- ❶ 電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
- ❷ \oplus/\ominus を正しく入れてください。
- ❸ 電池に直接ハンド付けはしないでください。
- ❹ 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
- ❺ 使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。

ご使用方法

- 電池をセットすると、液晶画面が3秒間全点灯した後、湿度・温度を表示します。また、最高/最低湿度・温度のメモリー（記憶）は電池のセット後、自動的に開始します。

■ 最高温度・温度の表示のしかた

- 通常表示のとき、最高・最低ボタンを押すと液晶画面に“最高”が点灯し、記憶した最高湿度・温度を表示します。



■ 最低温度・温度の表示のしかた

- 最高湿度・温度表示のとき、最高・最低ボタンを押すと液晶画面に“最低”が点灯し、記憶した最低湿度・温度を表示します。更に最高・最低ボタンを1回押すと通常の表示にもどります。



■ メモリーリセットのしかた

- メモリー（記憶）した最高湿度・温度を消去したいときは、最高湿度・温度表示のとき、最高・最低ボタンを長押し（2秒）してください。約2秒間「—」を表示し、現在の湿度・温度表示に切り替り新しいメモリーを開始します。
- メモリー（記憶）した最低湿度・温度を消去したいときは、最低湿度・温度のとき、最高・最低ボタンを長押し（2秒）してください。約2秒間「—」を表示し、現在の湿度・温度表示に切り替り新しいメモリーを開始します。

ご使用方法

意中の用意

■本製品は熱中症注意目安モード、または季節性インフルエンザ予防目安表示モードにした時、「熱中症」の注意目安または「季節性インフルエンザ」の感染防止目安を3段階の注意目安ランプの点滅色で表示します。それぞれの目安とランプの点滅色は次の通りです。

○赤（危険） ○橙（警戒） ○黄緑（注意） ○点滅なし（ほぼ安全）

※液晶画面に熱中症・季節性インフルエンザと表示されていないときは注意目安ランプは点滅しません。

熱中症中注意目安と、季節性インフルエンザ感染防止目安について詳しくは別途添付の説明書をご覧ください。



医療目的に製造されたものではありません。

あくまで一般的日常生活における予防の目安としてお使いください。

■ 使用時期について

●本製品は熱中症にては夏期（5月～9月）、季節性インフルエンザについては冬期（11月～3月）でのご使用を想定して製作しています。季節に合せて有効に活用して下さい。

■ 各機能表示の仕方

- 電池がセット（又は電源のリセット）されると、温度・湿度が表示されます。
- モードボタンを押して液晶画面に **熱中症** と表示されたとき注意目安ランプの点滅色は熱中症の注意目安を表示します。
- モードボタンを押して液晶画面に **季節性インフルエンザ** と表示されたとき注意目安ランプの点滅色は季節性インフルエンザの予防目安を表示します。

熱中症

注意目安表示モード



季節性インフルエンザ
予防目安表示モード



※液晶画面に表示される数値は現在の温度と湿度であり、熱中症や季節性インフルエンザについては注意目安ランプの点滅色で注意を喚起するだけで、数値での目安表示はありません。

ご使用方法

意匠の上用語

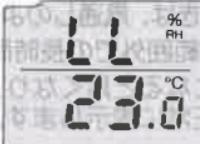
■測定範囲外の表示について

●湿度表示

測定湿度範囲

20~90%RH

20%未満になった場合



90%を超えた場合

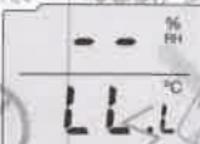


●温度表示

測定温度範囲

0~+50°C

0°C未満になった場合



+50°Cを超えた場合



* 温度が0°C未満又は

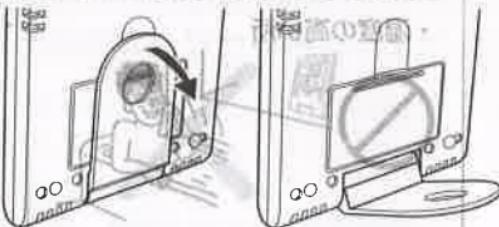
+50度を超えると湿度は20~90%以内であっても「--」表示になります。

■スタンドの立てかた

- 図のようにスタンドを矢印の方向に開いて設置します。



スタンドは設置する角度になると自動的に固定しますので、必要以上に強く開かないでください。



■壁面への設置のしかた

- 本製品を壁に掛ける場合は、取り付ける壁面の材質に合ったネジ等を使い、製品荷重（約109g）に耐えられるようにしっかりと固定してください。



建物には様々な建材が使用されており、木製だけでなくコンクリートや石膏ボード等の壁があります。このためDIY店等では、材質に合ったネジやクギが販売しておりますので、お客様の設置場所の材質に合ったものをご購入ください。

ご使用上の注意

- 本製品を温度の低い所から高い所へ急に移動させると、結露する場合があります。結露したときは、風通しのよい場所で乾燥させてください。
- 製品仕様に記載の、測定範囲外での長時間の使用は避けてください。
- デジタル表示部は高温になると黒くなり、低温になると表示が薄くなりますが常温になれば正常に表示します。

強いショックを与えないでください



分解しないでください



●次のような所では使わないでください。

・ 湿度の高い所



・ 温度が+50℃以上になる所



・ 温度が0℃以下になる所



・ 強い磁気のある所



お客様相談窓口・サービスセンターご案内

■お客様相談室

- お客様相談室では製品に関するお問い合わせや、製品の機能や操作、使用方法、ご意見等を承っております。

☎ 050-3784-5591

※受付時間 平日9:00~17:00（土日祝日は除く）

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17 TOCビル

■サービスセンター

- 修理のご依頼及びお問い合わせは「サービスセンター」にて承っております。

☎ 0197-22-2853

※受付時間 平日9:00~17:00（土日祝日は除く）

〒023-0001 岩手県奥州市水沢区卸町3番地16

エンペックス気象計株式会社 サービスセンター

- ・修理のご依頼を頂く場合は、次の事項を明記の上、製品と一緒に上記サービスセンター宛に送付して下さい。

- お客様名
- お客様住所
- お電話番号(ご連絡先)
- E-mailアドレス(お持ちの場合)
- 製品名(または製品番号)
- 故障状況(修理の依頼内容を詳しく)
- ご購入された時期、ご購入店
- 保証書の有無(保証期間内の場合)
- 有料修理となる場合見積必要の有無

■E-mailでのご相談は、弊社ホームページよりお問い合わせください。

エンペックス気象計株式会社ホームページ

<http://www.empex.co.jp>

保証書

保証規定の内容により無料で修理及び調整を行うことをお約束するものです

| | |
|---------------|----------------------|
| 機種名 : TD-8188 | 保証期間 : お買上げ日より本体6ヶ月間 |
| お買上げ日 : | |
| お客様名 : | |
| ご住所 : | |
| お電話番号 : | |
| 販売店名 : | |

●保証規定

- 説明書の注意に従った正常なご使用状態で万が一故障した場合は、お買上げ後6ヶ月間、無料で修理いたします。尚、故障の内容によりましては、修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。
- 修理の必要が生じた場合は、製品に本証を添えてお買上げ店又は弊社サービスセンターへご持参もしくはご送付ください。
- 保証期間内でも次の場合は、有料修理となります。
 - イ.誤用・乱用・及び扱い不注意による故障
 - ロ.火災・地震・水害及び盗難等の災害による故障
 - ハ.不当な修理や改造及び異常電圧に起因する故障
 - ニ.使用中に生じたキズなどの外観上の変化
 - ホ.消耗品及び付属品の交換
- ヘ.本保証書の提示が無い場合及び必要事項（お買上げ日、販売店名等）の記入が無い場合

上記有料修理の場合、送料はお客様のご負担となります。

- 当製品の故障又はその使用上生じた損害については当社はその責に任じません。
- 保証規定により修理を実施した場合は、修理報告書により修理内容をご報告します。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。また本保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

This warranty is valid only in Japan

※本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証書に記入されたお客様の個人情報は、製品の修理・交換の製品発送のみに使用します。また、弊社からの各種情報提供のために使用する場合があります。それ以外に使用したり第三者に提供することは一切ありません。

販売元：エンペックス気象計株式会社

本社 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17 TOCビル

お客様相談室 TEL (050) 3784-5591

Printed in China

■熱中症と温度・湿度の関係

熱中症の発症には気温、湿度、風速、輻射熱(直射日光など)に加えて、性別、年齢、既往症などの健康状態、さらには運動、労働、日常生活活動など様々な要因が関連しています。熱中症の指標としては、WBGT値 (Wet-Bulb Globe Temperature 湿球黒球温度) が、熱中症による死者数や救急者搬送数との相関も高く、気象予報等で使われています。また、財団法人日本体育協会等ではWBGTをもとに熱中症予防のための指針を5段階に分けて発表しています。

WBGT(湿球黒球温度)

屋外 : WBGT(℃)=0.7 × 湿球温度 + 0.2 × 黒球温度 + 0.1 × 乾球温度

屋内 : WBGT(℃)=0.7 × 湿球温度 + 0.3 × 黒球温度

本環境管理温湿度計〔熱中症注意〕では家庭用として室内で使用することを目的としており、また、WBGTは家庭では一般に馴染みのないことから、温度・湿度から暑さの指数を想定し、その注意レベルを3段階に分類しランプの点滅色で表示しています。

■3段階表示の詳細

| 熱中症注意目安 | WBGT | 対策 |
|---------|--------|---------------------------------|
| 危険(赤) | 31℃~ | 涼しい所に移動。 適切な水分補給。 身体を冷やす。 |
| 警戒(橙) | 28~31℃ | 換気・冷房・適切な水分補給が必要。 |
| 注意(黄緑) | 25~28℃ | 温度・湿度の上昇に十分注意。 |

※水分補給時適量の塩分摂取も重要です。

参考資料

- 熱中症予防のための運動指針(財団法人日本体育協会)
- 日常生活における熱中症予防指針(日本生気象学会)

「熱中症」注意目安について

熱中症の多くは、従来は高温環境下での運動や労働で発生していましたが、現在は日常生活においても発生が増加してきていると言われています。また、熱中症は真夏だけ気をつければいいと考えがちですが、梅雨期など湿度が高く気温が急上昇するときは注意が必要で、屋外だけではなく室内にいても発症することがあります。体温の調整能力は暑さへの慣れ(暑熱馴化)が関係していますので夏の始めや急に暑くなったりしたときは、体が暑さに慣れていないため特に注意が必要です。気温が摂氏30度を超え、湿度が高い場合は要注意です。

⚠ 注意

本製品は医療目的に製造されたものではありません。各注意レベルには個人差があり、環境条件や、性別、年齢、活動状態、健康状態により異なります。あくまで一般的な日常生活における熱中症注意の目安を示すものです。レベルや精度の誤差などによる2次災害や損害については、弊社では一切その責任は負えませんのでご了承ください。

「季節性インフルエンザ」感染防止目安について

インフルエンザウイルスの流行と水蒸気量(絶対湿度)との関連に着目し、感染防止の目安を分かりやすく表示しています。ウイルス感染の危険度をチェックし、インフルエンザの予防、室内の環境のコントロールなどに目安としてお役立てください。

※本製品は新型インフルエンザの流行には対応しておりません。

空中に放出されたインフルエンザウイルスが自然環境下で、どの程度生存するかについて実験室内で科学的に調べたHarperの実験では、ウイルスの6時間後の生存率は絶対湿度7g以下で20%、11g以下で5%、17g以上ではほとんど生存が確認されませんでした。

季節性インフルエンザの流行期以外でも、冷房や除湿によりウイルスの生存に適した環境になることもあります。絶対湿度をチェックし環境を管理していくことが必要です。



注意

ウイルスは絶対湿度が高くても患者との接触により飛沫感染する場合があります。また、絶対湿度が低くても空気中にウイルスが存在していなければ感染しません。

本製品は医療目的に製造されたものではありません。また、感染防止目安は、ウイルスの有無や、使用環境、健康状態により異なります。あくまで一般的な日常生活におけるインフルエンザ感染防止目安を示すものです。レベルや精度の誤差などによる2次災害や損害については、弊社では一切その責任は負えませんのでご了承ください。

■3段階表示の詳細

| 感染防止 目安 | 絶対湿度 (※1) | ウイルス感染リスク | 主な感染対策 | 生存率 (※2) |
|--------------|--------------|-------------------------------|--------------------------------------|-------------|
| 警戒 (赤) | 7g 以下 | ウイルスの生存に 適した感染しやす い環境 | 加湿器などで湿度を 上げたり、温度調整 をしましょう(※3) | 20% |
| 注意 (橙) | 11g 以下 | ウイルスが生存可 能で感染に注意が 必要な環境 | 温度・湿度の変化 (下降)に注意しま しょう | 5% |
| ほぼ安全 (黄緑) | 17g 以下 | 通常の生活環境 | 温度・湿度を適度に 保つようにな します | ほぼ0% |

(※1)絶対湿度とは

天気予報等で使われる湿度は、相対湿度といわれ、ある温度において空気中に含むことでの
きる水蒸気量(飽和水蒸気量)に対して実際の水蒸気量の割合のことで、%(単位)で表わします。これに対し、絶対湿度は温度に関係なく1m³の空気中に含まれる水蒸気の質量のこと
でg/m³(単位)で表わします。したがって、同じ相対湿度50%でも、20℃では絶対湿度約9g、30℃では絶対湿度15gと異なります。本温湿度計の色分け表示は絶対湿度に換算した値で表現して
います。

(※2)生存率とは

空気中に放出された季節性インフルエンザウイルスの各環境下における6時間後の生存率。

(※3)過剰加湿によるカビの発生にも注意が必要です。